



屋外施設の蚊対策



ヒトスジシマカ幼虫の発生源対策

ヒトスジシマカは比較的小さい容器の水中に発生します。

- コンビニの弁当などのプラスチック容器、空き缶や、捨てられたプラスチック包装袋に溜まった雨水
- 水の滞った排水溝、雨水升 など

対策 → 敷地内にある発生源を極力無くしましょう

- 敷地内に放置されたゴミを片付けましょう。
- 排水溝、雨水升は、ゴミや堆積物を取り除き、水が滞らないようにしましょう。
- 幼虫（ボウフラ）が多数発生した雨水升は、清掃の頻度を上げるか、薬剤による防除を検討しましょう。



ヒトスジシマカの成虫蚊対策

ヒトスジシマカは、潜伏場所でヒトが近づいてくるのを待ち伏せています。

ヒトスジシマカが好む潜伏場所は、樹木の根元が低木（ツツジやアジサイ）や下草で覆われた、日当たりが悪く風通しの悪い場所です。ヒトスジシマカは、低木や下草の葉裏に潜んでいます。

対策 → 樹木や低木の剪定を行い日当たりや風通しを良くしましょう。

下草は定期的に刈りましょう。



施設利用者への注意喚起



ヒトスジシマカは、木立や樹木で一日中日陰となっている場所を、産卵や吸血を行いながら徐々に移動しますが、潜伏に適した場所に、多くの蚊が集まる傾向があります。成虫の活動期の5月から10月までは、潜伏場所に近づかないよう掲示するとともに、施設利用者に対し、下記の個人防御の注意喚起を行って下さい。

施設内で長時間活動する場合、忌避剤の効果が蒸発、雨、発汗で薄れます。

対策 → 忌避剤は、2時間を目安として再塗布すること。

ヒトスジシマカは、昼間（朝から夕方まで）に盛んに吸血します。

対策 → 忌避剤は、昼間でも使用すること。